

CMX創発医学講演会

(第15回神戸免疫感染症セミナー)

マクロファージの組織・疾患特異的 表現型の獲得機構

酒井 真志人 先生

日本医科大学大学院 医学研究科
分子遺伝医学分野 教授



日時

2025年3月21日(金) 17:30～19:00

会場

大講義室 (外来診療棟6階) + WEB

<https://us06web.zoom.us/j/85395834672?pwd=XjalKEof682Pr0te8S17joQixmUzwd.1>

ミーティング ID: 853 9583 4672

パスコード: 782130



※本講演は大学院講義(先端医学トピックス)を兼ねております。

組織マクロファージは全ての臓器に存在し、組織恒常性の維持に重要な役割を担っている。組織マクロファージの形質は、組織環境におけるシグナルによって誘導されることが明らかとなってきた。転写因子PU.1, C/EBP, AP-1は、マクロファージの分化を決定づける系統決定的転写因子として知られているが、組織マクロファージは、さらに環境に応答して組織特異的な転写因子を発現する。これらの環境シグナル応答性の転写因子が、系統決定的転写因子と協調して組織マクロファージ特異的なエンハンサーを形成することで、マクロファージは組織特異的な遺伝子発現と機能を獲得する。さらに、マクロファージは疾患の進行や組織環境の変化に応じて疾患特異的な表現型を獲得し、病態形成に関与する。本講演では、肝臓マクロファージとマイクログリアの疾患特異的な表現型の獲得機構と、それが病態に及ぼす影響について、最新の知見や文献的考察を交えて議論したい。

担当：感染制御学分野 教授 勝二 郁夫

主催：メディカルトランスフォーメーション研究センター(CMX)

連絡先：研究支援課研究企画係(内線5189) E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp